

	分類	ページ	項目	議会での意見	修正
1	議員総会	P11	7. 将来人口の推計	人口が、令和42年には33,595人となることが予測されることから、「3万人に近づき」といった表現を入れてはどうか。	令和42年の33,595人の数字の強調については、令和2年の61,471人との比較により45.3%も減少するといった表現をしているため、修正しません。
2	議員総会	P63	【障がい福祉】 施策の展開	療育について具体的に記載されていないため、追記した方が良いのではないか。	第2次総合計画(後期基本計画)で施策展開の一つとして掲げる「療育支援体制の充実」は、ミルネヘ子ども発達支援センターを移転させ、障がいの早期発見と早期の療育支援にもつながっていることや市内の障害児通所支援事業所の整備も進んでいることから、今後は「療育・発達支援」に特化することなく、より幅広い視点を持って次の展開に進めていきたいと考えています。 第3次総合計画(前期基本計画)においては、こどもも含め、障がいのあるなしに関わらず地域で生活できたり学んだりできる体制をソーシャルインクルージョンの視点で進めていくことを新たな施策としながら、さらなる療育支援や障害福祉サービスの質的向上と充実をめざすことにも対応するため、以下のとおり項目を追記します。 ・施策の展開03項目3「こどもから成人期までの一貫した療育・発達支援と障がいのある人の意思を尊重した適切な障害福祉サービスの提供を通じて、障がいのあるなしに関わらず本人の望む生活ができるように支援します。」
3	議員総会	P29	【子育て支援】 施策の展開	施策の展開01の「結婚から妊娠・出産・子育てまでの支援の充実」に関して、「結婚から」よりも「出会いから」と表現する方が良いのではないか。	子育て支援としては、婚活支援も事業の一つとして行っており、その取組みのなかに「出会いのサポート」も行っていますが、「結婚」を1つのキーワードとして事業を進めており、タイトルは「結婚から」とそのままの表現とし、修正しません。
4	議員総会	P53	施策分野3【交通安全・防犯】 施策の展開	横断歩道歩行者優先宣言について、県が宣言するものであり、検討した結果、記載を削除したとのことだったが、大変大切なことであるため記載してはどうか。	「横断歩道歩行者優先宣言」は、ドライバーの横断歩道での歩行者優先意識を徹底するため、事業者が「横断歩道歩行者優先宣言」を行い、宣言書を事業所などに掲示するとともに、その内容を実践していただくことにより、社会全体で横断歩道での歩行者を優先する意識の向上を促すために兵庫県が募集されている制度です。 本制度の趣旨を鑑み、四季の交通安全運動の推進項目として、賛同促進と実践を図るものとし、修正しません。
5	議員総会	P67	施策分野1【商工業】 施策の展開03	性別に関わらずという視点から、「子育てや介護など」を削除し、「労働者のライフステージに応じた」の表現となったと考えるが、子育てや介護は男女ともに仕事をしていくうえで、大きな変化がある段階だと思うため、記載を残した方が良いのではないか。	「現状と課題」のなかで、「子育てや介護などの様々なライフステージ」と例示しているため、「施策の展開」の項目に、再び例示を記載しなくてもよいものとし、修正しません。
6	総務文教常任委員会	P71	【観光】 施策の展開	大阪夢洲の統合型リゾート(IR)施設については、地元である大阪でも、公営賭博に関して賛否が分かれるものであるため、総合計画に記載するべきか検討が必要ではないか。	大阪舞洲の総合型リゾート(IR)施設は、カジノだけではなく、ショッピングモールやエンターテインメント施設などの複合施設で構成されるものであり、総合型リゾート(IR)施設開業により、インバウンドによる集客が見込まれ、京阪神エリアを訪れた国内外の観光客へ丹波市の魅力をPRし、丹波市の認知度向上及び市内周遊促進による地域活性化を図るため、統合型リゾート(IR)施設の文言はそのままとします。